

第4回 湘南港ヨットハウス（管理事務所）新築に関する施設利用者連絡調整会議

日時：平成22年11月6日（土）

10:00～12:00

場所：女性センター1F多目的室（中）

【司会】

第4回湘南港ヨットハウス新築に関する施設利用者連絡会議を始めたいと思います。この会議は公開するというので、管理事務所の前にお知らせを貼ってあります。資料の確認をお願いします。今までの調整会議における意見と対応状況の資料と新築工事実施設計資料を配布してあります。事務局を代表しまして、なぎさ港湾課より挨拶があります。

【県】

おはようございます。今回利用者連絡調整会議という事で、本日4回目を迎えます。意見交換会という形で2回開催していますので全部で6回になります。ヨットハウス建て替えの検討は、平成20年度にはじまりまして、21年度に基本設計、本年度に入りまして詳細設計、工事の予定としては23・24年度になります。だいぶ設計の方が煮詰ってきました。今回が設計については最後になるかと思えます。今後積算・入札・工事となります。工事に関してはまた改めて説明することになるかと思えます。模型・図面を見ながら皆様のご意見を聞きたいと思えますので宜しくお願い致します。

【司会】

それでは議事に入ります。今までの意見と対応状況について説明いたします。前回と変わったところについて主に説明したいと思います。

この会議は、公開という形で事前にお知らせしてあります。

『宿泊施設の設置』ということで、かながわ女性センターでは平成22年4月から利用当日の1箇月前から空きがある場合、宿泊室のみの利用が可能となります。

『ロッカー・シャワーの男女比について』7:3として基本的には設計していますが、女性の方を若干増やしています。

『ロッカー・シャワーの無料化』無料化を前提とした配置になっていますが、無料化についてはこれから検討していきます。

『清潔なパウダールームの設置』これについても設計の方で反映する形をとっています。

『ロッカーを大きくしてほしい』対応する形になっています。

『外部階段の位置を検討してほしい』何回か変更になっていますが、設計の方で説明してもらいます。

『2階の会議室についてレース後のパーティー時などのために有料で貸し出して欲しい』これは対応いたします。

『2階の大会議室のテーブルの収納場所の確保』確保しました。

『船具ロッカーについて、現在利用している規模は確保して欲しい』確保する予定でございます。

『大規模ヨットレースの場合に会議室の優先予約ができるようにして欲しい』現在指定管理者と利用者の方で検討中です。

『男性トイレよりも女性トイレに列ができる人数比以外で決めて欲しい』一部女性のトイレを増やすよう対応しております。

『船具庫と新ヨットハーバーの間の通路の安全確保』まだはっきり具体的には決めていませんが、対応する予定です。

第1・2回意見交換会における意見と対応状況について。

『利用料金を据え置きについて』設計が出来上がり、工事が発注されないと料金が計算されませんので、概算で、平米当たり年4万円と出ておりますが、現在のところ未定です。

湘南港管理運営に関するご意見について。

『担当者マリーナ視察』一昨年は、ベイサイドマリーナ、八景島マリーナを視察しましたが、佐賀県のヨットハーバーを砂防海岸課の方で視察しました。施設利用料金の提示ということですが、先ほど言いましたように実施設計から使用開始までの間に提示する予定です。

『シャワーの無料化』先ほども申しましたが無料化を前提とした配置になっていますが、今後検討していきます。

『トイレの増』現在のヨットハウスの数よりも多く確保してあります。今回初めて、『インパクトのあるデザインにして下さい』今設計会社の方で一生懸命努力してくださっているところですので、変更は困難です。

湘南港管理運営に関するご意見について。

新しく出ましたのは『自動給油設備の設置希望』消防法の問題、経済的な問題等ありますので、指定管理者の方に検討をお願いしています。

『艀装場所の確保』今後検討していきます。

『バースのひとつひとつの箱をもっと大きくしてもらいたい』ディンギーヨットにつきましては、今、はみだしている物のみ、箱を大きくすることを検討中です。

『汚水流しを作っていただきたい』現在のディンギーヤード端部に排水溝がありますが、もっと必要というのであれば検討していきたいと思えます。

以上で今までのご意見対応状況の説明を終わります。

続いて実施設計の内容について設計者の方から説明してもらいます。

【設計者】

お手元の図面の説明に入る前に模型をご覧いただき、人間の目線で見ても映るかを見ていただきたいと思います。江の島の灯台じゃあないのですけれども、夜間含めてもう少しライトアップするとどうなるか照明デザイナーにもチームに入ってもらって照明の配置についても検討しています。特異な形をしておりますからなかなか音響の問題・照明の問題、様々ございますが、それがまた新しい文化を生み出すのではないかと思いますとがんばっていますのでよろしくをお願いします。

これは臨港道路側から見た姿です。主に屋根の形を優先したような形で、足下側のほうがメインエントランスとなります模型がうすい、専門用語で基段といえます。

これは逆にハーバー側からの姿です。西日をさけるようにしています。

うねった屋根の天井に直接穴が開いていて、そこから光が入ってくるようになっていきます。これは今回のコンセプトの自然採光・自然通風で上に空気が抜けるように設計されています。この辺はホワイエになります。このような空間を頭に入れてください。これはまだ営業している夕方のイメージです。

照明計画について。天井を照明が照らして、照らした光が反射して全体の空間照明になっています。全体をふわりとした形にしようかなというのが照明計画の狙いです。これはエントランスから見た姿です。

1階の右がシャワーロッカー室で左がミーティングルームですが、壁をスリットのように光がシュッと照らすようになっていて船具ロッカーを通過して戦いに行くぞというようなイメージをチェンジするような感じになっています。

床にも照明を配してみんなが帰った後ももう少し見えた方が良いでしょうということで、建物のシルエットが対岸から浮かぶようになっていきます。

以上が照明計画で、このような空間構成だという事をイメージしてもらって、図面に戻りたいと思います。最初のページです。現在あります椰子の木を避けるような形で車の乗り降りを行います。その手前側メインのエントランスがあります。ロータリーに面したところで高低差を利用して木々を植えて木陰のあるテラスとして利用できるようになっていきます。それとリンクするような形でカフェがあります。トイレを介しましてこちら側にマリングッズのショップがあります。

メインエントランスはこちら側になるのですが、一般的にゲートが開かれている時、センタープロムナードのエントランスからまっすぐ入ってくるとみんなのスペースになっていて一般の方が入れる場所になっています。ここまでが一般開放の部分です。入り口に管理事務所があって受付カウンターあるいは受

付があります。

これ以降がハーバー利用者エリアになります。どういう形でセキュリティーをやっていくかは指定管理者とも詰めておりますが、あまり厳重でもいやだし、かといって自由に出入りできるとなるとロッカー・シャワーの無料化を通じて海水浴客等が入ってきてしまい、今と同じような状況になってしまうので、その辺ある程度入場制限を考えています。

このまま抜けていきますと現在の搬入口を挟んだ形で新しい船具ロッカー等に行くわけですが、入ってきて手前右側部分にロッカーとシャワーがあります。これは、今ビジター用含めて学生さんが荷物を放り出している、あるいは着替えたりして見た目美しくない。様々な考えがありますのでコインリターン式のロッカーを考えています。一番奥に水上警察のスペースになります。今度24時間体制となる。これはあまり申し上げられません。

この通路を挟みまして、海側に利用者のためのミーティングスペースがあります。一番手前に指定管理者の港湾管理部門が入ります。日常的に拠点となると思います。その隣に大きなミーティングルームがあり、その奥に一般的な中位のミーティングルームが二つあり、一番端に小規模ミーティングルームが3つあります。お互いの声が聞こえないようにしている。

駐輪場、バイクスペースにつきましてはこちら側に十分なスペースを確保してあります。車につきましては、県警のパトカー置き場と車椅子利用者と管理者のための駐車スペースを用意してあります。日常的には昼夜ともセキュリティーブロックされています。夜間になりますとここで締め切られます。

メインエントランスから休憩棟へ真っ直ぐ抜けるような感じで照明を配してあります。ミーティングルームは、音響のプロを入れてどの部屋もがんがん音がしない、何も聞こえないという事がないように配慮してあります。いますので、できるだけ軌跡の大きい空間を考えて、現在は学校のように天井の高い空間を考えています。

これは照明計画でも説明した利用者の通路です。これらをイメージしてみんなのスペースからゆったりとした風景を眺めながら、上がっていく階段とこちら側にガラスでおおわれたエレベーターがあります。これを上がっていきますとホワイエ部分がありまして、そのままハーバービューテラスで外に出られるようになっています。こちら側が大会運営室。現在、こちらは積極的に閉じるのではなく、ホワイエも含め緩く仕切る方向で考えています。セキュリティーラインをどうするか考えています。南西側の方にオリンピックメモリアルスペースを残してあります。まず大会運営室にサービスする会議机等がはいる収納スペースがあります。それからこちら側にメモリアルスペースの内装等のデザインについては、どの程度解放したらよいかどのくらいのレベルがよいかは、

今日ご意見を聞いてから考えていきます。前回の利用者会議で、現ヨットハウスの部屋は江の島ヨットクラブのクラブルームということで、完全にクラブ員しか使えないようになっていますが、今度はある程度管理した形をとりながら一般にも開放していくことが出来るような形を取るのが望ましいが、完全には出来ない制限をかけることとします。そういう意味ではある程度セキュリティを考えた施設としています。あるいは国際大会等でVIPが休むスペースも考えています。いずれにしてもこの海側の港湾側も大きな屋根がかかっている風通しの良い構造となっていて、今年のような暑い夏であってもテラスにいるかぎり、日陰のスペースがじゅうぶんあります。海側も2階の使い方についてどういう想定が出来るか提供していきます。

ここに2階のトイレがあります。実はトイレとメモリアルの部分は、屋根を支える専門的に言うと水平力を負担する、つまり揺れに対応しがんばるための柱となっています。よって他は家庭の柱と同じような太さでじゃまにならない。ヨットのマストと同じ働きをしています。全体的には、屋根はふわりとした形になっています。これは、エレベーターです。これは機械室です。

この構造の柱としてマリンショップとトイレです。

この辺が反対側のプロムナード側からみんなのスペースです。これは、ハーバービューテラスです。これを短い方から見た図です。

ここまでが全体の構成となっています。今日はその次に各部屋の詳細図について。7ページから先です。これは管理事務所です。先ほどの受付カウンターがこの部分で、受付のスタッフの部屋になっていて奥がワンルームの形になっています。向かいの面が港湾管理の部屋になっています。

男子ロッカールームになっています。こちらがシャワールームです。

前回までの利用者会議で車椅子の利用者の事を考えるとうことで、車椅子利用者のためのトイレとシャワールームがあります。一般の方はその奥になります。

シンメトリーになっているのが女性のロッカー・シャワールームです。一番奥にフィッティングルームになっています。

大きなミーティングルームは、パスでも説明しましたが、一部屋としても使えますが、普段は簡易パーティーションで区切ってあります。音の方も音響もきちんと聞き取れるように考えてあります。

これは、その奥のミーティングルームとなっています。この2つにつきましては、こちら側がEYCとこちら側をセーリング連盟が使うのかなーと思います。

この部屋は、お互い声が聞こえないようになっています。この2つにつきましては行き来が出来るように考えています。以上で私の説明は終わります。

【司会】

これから意見交換会に移っていこうと思いますが、その前に普通新しい建物になった場合、夏は涼しく、冬は暖かくといった快適性を求めることになると思いますが、単なる管理事務所という形ではなくて、ヨット利用者も使うための多目的な建物を作るということで、設計者の方から自然通風・採光を基本とした提案がなされていて、女性センターみたいな全館空調ではなく全館通風で考えていきたいということで、その点についても利用者さんの意見を聞いて進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは意見交換会に移っていききたいと思います。よろしくお願いします。

【県】

今までのところどうですか？いままでの会議で出された意見が大体網羅されていると思います。形的について個人的には良い計画が出来たなと思います。今の入り口は仰々しくて、それに対し今回は開かれた施設という事で1階のプロムナードの所にオープンなスペースがあり、そのまま2階にあがれて、訪れた人が階段で2階にあがり、入りやすくなっていると思います。その辺も含めてどうでしょうか。

【利用者】

1階の出入口のドアは、今度は自動ドアですか？

【設計者】

3つの風除室は、全部自動ドアです。やはりセイラビリティーの方も含めまして車いす、傷害をお持ちの方そうでなくても荷物を持ってきますので、出来るだけ人にやさしいというのを目指しています。

【利用者】

メインエントランスから入って、受付して1本しか抜けられないか？サブエントランスは自動ドアで通りぬけられるが、ヨットハーバーに行くには通路は1本だけですか。

【設計者】

ヨットハーバーにはいるのは通路1本だけです。まっすぐは出られますが、ディングーヤードへは抜けられません。

【利用者】

安全確保は出来るのか？細長い通路が一本だけで朝晩大勢の人が出入りする時間など安全確保はできていますか。

【設計者】

安全というのはいくつかあるのですが、防災という事に関しては専門家を入れて、検証してあります。火事になったとき、煙に巻かれない。通路幅は2.7mです。

【利用者】

人が大勢通るという点は、どう考えているのか。ミーティングルーム間に一本位通路があってもいいのではないか。この細長い通路を全員が通ることになるのか？縦にもう1本ぐらい通路があっても良いのではないか？

【利用者】

関連質問で、対象利用者人口をどう考えているのか。ロッカー・シャワールーム利用者、男女比含めて、皆ロッカー室使用を前提としていますね。このヨットハウスの1日当たりの利用者人口とか、何か想定があるのですか？

【設計者】

基本計画では、やっています。我々がやる前にやっています。そこでロッカーの数とか決められてきて、それを踏襲しています。

【利用者】

それは、現在の利用者数プラスアルファという事で、みていますか。全員使えるという意味ですか？

【県】

現状の数です。

【利用者】

今、来ている人全員ロッカーが使えるという事ですか？イベント時含めて。すべて使えると考えていますか？

【県】

ピーク率を考慮して計画している。

【設計者】

船具ロッカーの併用を考えています。船具ロッカーのある方はそちら基本そちらを使用していただきます。ロッカー利用率は年間契約を除くと少ないので。ハーバー内で荷物を放置しないようにするために使う。

【利用者】

先ほどの質問と関連して一番利用率の多い時に何かがあった時、出入り口が右側に抜けていくドアしかない場合、もう一本海側へ行く通路がなくていいのか。つまり量的な検討が必要なのではないか。

【県】

ディングーの保管エリア全体を見ると、みんな右に行ってディングー置き場を通りエリアへ行く事になるので、上から出ても右に行くし、動線としては大差ないと思うのですがどうでしょう。ディングー保管地全体の図面があるとよいが、ない。

【設計者】

利用者さんの意見は論理の矛盾をつく。今までの利用で行けばあまり利用が

ない。安全を考慮し、皆積極的にロッカーを使いなさい。となると人が集中するので、大会ピークが重なると足りませんか？となる。

【利用者】

今も入口が1箇所しかなくて、ショップ等で狭苦しい思いをしているのにまた1箇所にするのか。又後ほど考えてください。

【設計者】

そういう意味ではショップをみんなの広場へ移すことにより障害を排除しましたので、基本的に障害物はない。

【利用者】

クルーザー利用者は問題がないが、ディンギー利用者が問題である。

人口減っても、土日使う人口が増えている。後で検討しておいて下さい。

国旗とかポールは、どこに立てるのか。

【設計者】

今日はそこを聞きたいのですが、現況は、3本ですが、これから国際大会を考えると7本位必要なんじゃないかと思いますが、どうですか？旗がお互いかさならない程度にするため。

【利用者】

国旗だけなら7本ぐらいでよいのですが、レースの時、江の島の場合複数の大会を同時開催するので、各大会で5、6本はあげるので、何箇所かその日にレースに応じてつけられるようにしてほしい。

【設計者】

基本設計の時には2階のここら辺にレース用に7本ぐらい作ろうと思ったのですが、どうもここは、全体の図面が無くて申し訳ないが、通用路よりもこの建物は少し外れている。同時に船具倉庫が平屋で建てられる。そこに表示用のフラッグポールを建てたらどうか。外階段で上って使うのはどうか？国旗のポールは建物の前に計画します。3本は少ないので何本にしたらよいでしょうか？今日お聞きしたい。

【利用者】

外のポールは原則的に運営者のもので国旗があがっている。逆にミーティングルームの上の部分に5本とか7本とか立てることはできますか。

【設計者】

それは、参加国のためものですか？

【利用者】

参加国とか陸上本部ためのもの。

【設計者】

第1回の説明会の時に、ミーティングルームの位置について左に行ったり右に行ったり議論をおこない、2階のこの部分に話はきまったのですが、船具ロッカーの上の方が良いのかなと思いますので意見を聞きたい。みなさんの希望に従う。

【利用者】

第1ページ目を見ているのですが、全体が見えないので教えてほしい。現在のヨットハウスとどのくらい角度が違うのか？これだと北東に向かっていますね。

【設計者】

この位置は、現在のヨットハウスの港口が見えるテラスと今回のテラスとフラッグポールからの距離は同じ、ただ見づらい。

【県】

ちょっと待ってください。位置関係の図面をお渡しします。赤いのが新しい物、青いのが現在の物になります。

【利用者】

旗の件になりますけど、レース用の旗については、3つ4つレースは重なるのでその時に旗が足りないとなるとまずい。現在は適当に穴があるだけなので適当に住み分け出来る。多い時4つぐらいレースが重なる。

【設計者】

レース運営用の旗については、位置と本数を決めてもらえればそれに従います。

【利用者】

レースを行う場合公示掲示板はどこ、ポールはどこ指定します。その時同じ位置だと、ごたごたになる。場所を分ける必要がある。ポケットランチャーみたいのがあれば押し込めるのでよい。1つの大会で4つずつ。

ノルウェー杯の時にディンギーとOPとクルーザーおのおの4つずつ欲しい。

【県】

高さはどの位必要ですか。今のヨットハウスの2階からどの位までの高さですか？2階から人の高さぐらいでよいですか？

【利用者】

今の高さで問題ない。ただクルーザーからは、見たこと無いのでわからない。

【設計者】

それで言うと今度のヨットハウスは、プロムナードを挟んで建てられるのでプロムナードから全く見えない。現況の高さは同じくらいなのですが、樹木があつて視界が遮られ見づらい。樹木はそんなに高くは無いが、建物の前がヤードで一番高いので周りの低いところから見づらくなる。

【設計者】

レースに飛んだが、国旗についてはどうするか？

【利用者】

ナショナルフラッグは、最低10本は必要かと思う。これから湘南港はどんどんレース・イベントの数が増えていくと思うので、管理事務所という観念ではなくヨットハウスとして将来を見据えて考えていくべきだと思う。

【設計者】

ランドスケープとしてどうできるか。10本マックスまでという事で検討させて下さい。7本ぐらいがよいのかなと思う、補助ポールを使ったたりするようになるかもしれませんが。

【県】

常時使う物とレースの時使う物と。後は配置を検討させて下さい。

【利用者】

話もどりますが、ミーティングルームの件で、今の図面には外に出るドアがかかれていないが、口頭では外に出られると聞いたがドアは付くのか？

【設計者】

これから皆さんの希望を聞いてどういう出入口にするか検討していきます。

【利用者】

ドアタイプだと風で暴れるので、引き戸タイプの方が開けっ放しにできるので良いかと思う。

【県】

現在はアルミの引き戸ご存じだと思いますが、これを含めて検討します。

【利用者】

先ほど出たロッカールームとシャワールームの件ですが想定人数が、少ないのではないか。ディンギーレースで参加者だけで200名、スタッフ・クルーザーヨット利用者を入れると200名というのは想定人数としては少ないと思う。

クルーザーの方もいるし、少なすぎる。

【設計者】

男子が216名・女子が150名。

【利用者】

シャワーを使える状況ではないと思われます。荷物をハーバー内に出すなどおっしゃいますが、このロッカーの数ではなんとかしようとするのは、厳しいと思う。

【利用者】

大会を運営する時にはビジターの人たちがたくさんくるのですが、その時には荷物があふれてしまうので、年貸しの方はこの数でいいが、大会用の1日貸しのロッカーの数が問題なる。

【設計者】

今回の設計ではスペースが限られていますので間口が45センチのロッカーが3段積みで1ユニット6個で想定しています。今言われたように荷物が溢れちゃうこともあるかと思いますが、これから出てくる船具ロッカーの方でスペースがありますので、そちらで補うこともできます。常時でなく大会時に足りないということなので船具ロッカーの方でこれからどれだけ補えるか検討してみます。

【県】

管理棟の中では、いろいろスペースの問題もでてきますので、できればこれからやりますけれども、そのなかでこれからカバーできる所は考えていきたいと思えます。すべてここに納めるのは厳しい。船具庫が隣に出来ますのでその中でやっていきます。

【利用者】

2階の話。普段は自由に使えますか？休憩室、大会運営室、一般の人にも開放するという事ですか。専用利用の時はパーティションで仕切るとかすることによいですか？

【設計者】

そうです。2階のスペースは全て利用者が自由に出入りできるが、大会運営等で使う時は申請をすれば有料で専用利用ができるということで、前回の調整会議で決めました。

【利用者】

デッキ部分は台風の時や雨の時もある程度濡れないで出来るという事ですか？

【設計者】

穴の開いている部分もありますが、ほぼ全ての部分屋根がついていますので、雨に濡れることはありません。防水上、下のコンクリートの上20センチほど浮かした所でのウッドデッキを考えています。

【利用者】

図面でイメージできませんが、左側はすべて屋根があるのですか？ 2階のオープンスペースからは、沖が見えないという事ですか。

【設計者】

江の島の方が見られなくて、ちょっと見づらいですが大島方向と沖は見られます。

【利用者】

2階は雨が降ったらほとんど雨ざらしになっちゃうってことですか。

【設計者】

屋根は全部かぶっていますので、普通の雨じゃ濡れません。

屋根に沿った部分に開いている穴の部分のところからは、雨が入ってきます。後の部分は穴がないので雨は入ってきません。

【利用者】

大会議室の周りは、ガラスですか？

【設計者】

全部ガラスです。

【利用者】

そのガラス部分を全部はずして中と一体化して使うことはできるのか？

【設計者】

それはお金がかかるので考えていません。出入りは、このようにドアからと考えています。内外を一体化して使えるようにというのは、想定しています。

【利用者】

今の大会議室がいっぱいになったときテラスも一体に使うのと同じ感覚ですか？

今の会議室とこれから出来る会議室の広さはどれくらいですか？

【設計者】

今の計画の会議室は350m²を考えています。

今の大会議室はどのくらいの大きさですか？

【利用者】

ガラスの所は、カーテンなりブラインドで仕切られるのですか？

イベント時、会議室の絶対数が少なすぎる。現状では6箇所位使っている。それを考えると全然足りない。大会運営室がガラス張りだと何かカーテン・ブラインドなど目かくしがないと運営室と外のデッキを別の団体が使用する場合に不便ではないか。

【設計者】

大会議室のやり方を考えた時に小さな会議室をいくつも作る想定もあったが、そうではなく、大きな会議室を作って、海の利用者同士一つのスペースを分け合ってもらおうということ、へたな仕切りはやめようという事になったのですが。今言われている、中見えちゃまずいから、閉めると言う時にどこまでやるか。言ってみれば2階は大きな広場を活用するという形で、運用をどうするかという話になるのではないか。

【利用者】

先々週たて込んだ。今、6箇所で行っている事をこの部屋数でやるのは無理なので、使い勝手を考えないといけない。

【設計者】

だからそれは、お互い見られちゃいやではなく、同じスペースで同時に行う形でやるという事してほしい。

【利用者】

仲良くはやりませけれども、どうしてこっちは、パーッと盛り上がっていて、こっちは表彰式をやるじゃあ、とても一緒には出来ないの、ある程度の仕切りは必要。既存の壁でなくても、パーティションの仕切り位は、用意していただきたい。そうするとスムーズに出来る。

【県】

ガラス面に関しては、室内はカーテンやブラインドをつける。部屋を仕切る手立てとして組み立て式のパーティションを用意するなどして、複数団体が同時に使用できる手立てを検討していきたいと思います。パーティションは準備できると思います。外回りをどうするかです。そんなイメージでいかがですか？

【利用者】

広い開放面のスペースは、すべて明るいと想像していますが、中で何かプレゼンテーションをやりたいというような場合暗くすることはできますか？

【設計者】

先ほどのアップライトを消せばある程度暗くなりますが、映画上映できるような暗転は考えていません。それに見合った質の高いプロジェクターを用意していくとか考えて行く必要があります。こないだのパールレースでも暗転しなくても出来た。映画上映は想定していない。よって暗転は考えていない。

【利用者】

現在は、9海面になっています、最初は6海面でしたが、関東平野で遠浅で潮がそう強なくてマークが打てるこの海域は非常に稀有な場所なので、これからますます利用人数が増えていく事と思うがそうすると、この建物だけでは収容できなくなる。だからそこでポールの数にしても会議室の数にしてもどこで折り合いをつけるか、期待していますのでよろしく。

【設計者】

オフィシャルではないが、女性センターの再利用計画も進んでいますので、現在濃い緑でふさがれていますが、そちらも利用して連携していくことで、

【利用者】

地域の活性化につながっていくことと思う。
世界からも来ますから期待していますのでよろしく。

【設計者】

部屋の使い方として自然採光・自然通風ということで計画されています。ヨット利用者を前提として計画していますので、シーズンというと3月末から11月の初旬あるいは月末までをハーバーの利用シーズンと考え、冬の間も利用がない訳ではないですが、大きな大会というとジュニアの強化合宿程度かなと考えます。そう考えますと冬の間は利用頻度が少ないという事で、全体を暖めるという事は省エネの観点からいっても計画上問題あるのではないかという事で、人がいるカフェ・一階の部分のひさしのかかっている受付部分、この部分につきましては暖房を考えています。居住域に関しては、きっちりやっぺいこう、ホール全体を暖めるのではなく、暖をとりにいこうと、そういう形を考えています。それが維持費として、利用料金に反映されてくるので、今そういう提案をさせていただいています。県の営繕ともその部分については議論の最中です。勿論こういう風な会議室等は空調を考えています。

【利用者】

自然の風を入れると言われましたが、1階の事務室はきちんと入ると思いますが、2階のホワイエは、基本的に空調はないと考えた方がいいのですか。

【設計者】

空調はしてないけども、こういうところにラジエーターみたいな物を用意しておいて暖気をそこでとれるように、それ以外は自然通風採光を考えています。上に穴が開いていますから海風が210度で抜けていくそういう構造を考えています。

【利用者】

パーティーをやっていて、汗だくで暑いのはいやだなと思ったので。

【設計者】

その心配は、たぶんないと思います。今心配しているのは、冬の閑散期に一般に開放している時になんか寒そうみたいな感じを言われたらどうしようという事です。現況の建物に冷暖房が入っているわけではないので、それに比べればいいと思いますが。

【利用者】

2階は、火は使えるのですか。パーティーで使いたいの。今はテラスカイがあるのでよいのですが、無いと料理はケータリングに頼らざるを得なくなる。

【設計者】

火とはIHも含めるのですか？現在検討中です。火は基本的に隣の喫茶室もIHを考えています。ガスとなるとプロパンを用意しなければいけないので。それを2階にも用意するとなると議論が変わることなる。

【利用者】

パーティーをする時に経費を抑えるために自分たちで調理するのですが、カセットコンロの持込はどうなるのか？いっさい火気厳禁となると困る。

また逆に電気なら良いとIH・ホットプレート持込可となった場合かなりの電力消費量になるので、容量のことも考えていただきたい。その辺の対応はいかがなものでしょうか？カセットコンロの持ち込みも検討してもらいたい。

【利用者】

パールレース大会の時には2日間泊り込んで、カレーライスを炊きだすこともある。

【利用者】

基本的には室内はだめで、外ならいいという事もありますか？ デッキ部分は可とか。

【設計者】

防災計画上はインナーでは、ないということになる。外部の利用についてどうするかは設計者の範疇外である。

【利用者】

私の見解では、室内はだめ、外はOKということですね。

【県】

室内・屋外含めて今言及できないので、保留とさせて下さい。2階にはIHを検討する。炎が出ない物を検討する。

【利用者】

電気の容量だけは、検討をお願いします。ここの会議室だけでなく他の会議室もお願いします。

【利用者】

これは質問ですが、オール電化とかエネファームで電気とかガス場合、環境共生型の建物にしようじゃないかというのが県の話でよいのですか。オール電化にすると資金面も東電からの支援もサービスも期待することもできる。たとえば屋外にもパーティー用のIHヒーターを設ける交渉もこれからとなるのですか？

【設計者】

要望があれば当然これから検討する。

【利用者】

勿論県が負担する話ではない。

【設計者】

利用者さんの質問に答えます。みんなの広場のこの辺にバーベキューになったら良いなーと設計側としては考えているが、まだ具体的な詰めはしていない。

現況も結構パーティー等でやっている。

【利用者】

我々のイメージとしては、オープンスペースとなるのですね。センタープロムナードのフェンスは無くなるのですね。そこも火はだめなのですね

【設計者】

フェンスを取り外します。まだバーベキューが、だめか、決まっています。

【利用者】

お金を払っている人が規制された。フリーの人がOKで金をで、金を払っている我々が規制されるのはおかしい。

【県】

管理運営上の話も含めてこれから検討していきます。

2階はだめなのでお願いしたいなと思います。

【設計者】

V I Pルームの仕上げのイメージについてお聞きしたいのですが。現況のようなイメージにした方がいいのか今風にもうちょっとガラスっぽいイメージがいいのか。

【利用者】

両方考えられるが、日本に1箇所しかないオリンピックメモリアルにふさわしい、江の島のイメージにふさわしいもので、V I Pもお使いになれるし、イベントによってはここも使うということで、それに見合った設計者さんのご提案があればそれでいいのではないかな。

【設計者】

出来るだけ華美にならないで、いいのかな。

【利用者】

貸し会議室的な考えなのか、ある程度現在の2階の考えをするのか？どうするのですか？

【県】

2階の大会議室と同じ考え方だと思います。どうしても使いたい時は、有料でお貸して、普段は見学なさりたい方がいたら一定のセキュリティーを確保した中で自由に見て頂く。という位置付けで、他の会議室と同じ考えで今は考えています。

【県】

セキュリティーの確保が難しいと思います。貴重な物もあるでしょうから、ガラス張りにして置くのか、作り付けにして作るのか、外部から買ってくるのか。何か具体的にこうしたいということがあれば、お聞きしたい。

後、自然通風にするのか、完全冷暖房にするのかについてはどうしますか。

【利用者】

絶対難しいと思います。低層空調的発想で人の頭の高さくらいまでを暖めたり冷やしたりするということで、空気全体を暖めたり冷やしたりするのはエネルギーが無駄だからやめようという事ですが、これが、言うがやすし結構難しい。夏のパーティー汗だくになりますよ。たまたまいい風が吹いて抜ければいいが、ほら暑いじゃないかと言う事態もありうる。何を選ぶかという、少々無駄でもいいから全体を暖めちゃうっていいのか、それが無駄だからたとえばオール電化にすることによって少し安い豊かなエネルギーをもらって低層空調分の熱を出すか。これは決心だと思います。結局従来の空気を全部暖めるとするのはものすごいエネルギーのロスがありますが、日本人はこれになれちゃっているの、パチンコ屋みたいな空間じゃないと文句いいますよ。それを覚悟の上でやるという事で、このパブリックな施設はエネルギーに関して環境共生型ですから、そういう事をみんなでちゃんと理解しましょうね。夏は涼しい海の風を通しますから皆さんそれを楽しんで下さいと宣言なされば、県民も含めて皆な少々暑くても我慢しようじゃないかという、そういう教育というか宣伝をしないと無理だと思います。それをいきなり言うと難しいと思う。

【利用者】

やるのだったら、そういうものだと。夏は暑くて冬は寒い。と言われればしょうがない。どっちみちみんな海に出てやっているの、より快適なのがあればいいなあということで、こういう施設だと明記してもらえば、文句いうなという事になる。

【利用者】

宣言するという。

【設計者】

空調の概念を今回は大空間ではウイークディとそれ以外の日の利用者数の差がありすぎる。

【利用者】

となりの船具倉庫の高さも考えて風の通り道を考えないといけない。隣は平屋とは決まっていない。

【設計者】

隣は平屋です。シーブリーズ210度です。

【利用者】

平屋とは限らない。シーブリーズは沖の角度です。それを計算してもらわないといけない。ここは江の島の陰になる。

【設計者】

検討しています。

【県】

局所的に空調があるが、2階部分をどうするか。環境共生型の自然通風・採光でやるのか。局所的にパネルヒーターを使うのか。暖めるのであれば、電気でもガスでも今の段階であれば出来るので。公共施設という事で非常に難しい問題ですが、さまざまな皆さんの意見を聞きたいと思います。

【利用者】

夏は空調があれば助かる。今の大会議室は中にいられない。空調がないと中で何かしようとなる状態でない。

【利用者】

一番夏場想定されるのは、ミーティングルームで会議をやって、その後パーティーやりましょうといって2階に上がった時に何これは、となるとこまる。

【利用者】

今だって大会議室は空調ないよね。みなさん年間使われていて本当に暑かったということはそんなになかったじゃないか。現在の建物も3階は例外として2階は結構空気が抜けるのでそう暑くない。それなら空調を入れなくても環境共生型ということでアピールされてエコの建物という事で協力するとう事の方がいいのではないか。

今の建物で確かに冬は確かに寒いですが、夏はそうでもないじゃないかと思えます。海面調整会議でいつもストーブ炊いているので寒い。

【利用者】

屋根裏の風をどうするのか、屋根裏は暑いので、屋根裏の風をちゃんと流してくれる工夫があるなら、期待できるじゃないかと思えます。

【設計者】

専門用語で浮力換気という考え方で、逆に風を呼び込む土蔵のような構成を考えています。ただしそれだけだと無風の日も確かに想定であるので、天井にまで届く冷水を通すラジエーターみたいな物を考えています。音響的にも音を散らす役目もあるのですが、一時的にはパイピングが結露することによって除湿効果があります。入ってくる空気に対し、いわゆる打ち水的な効果がいわれています。ただ閉鎖した空間での事例はあるが、開放型での効果についてはまだ実例がない。閉鎖的になった時の窓辺を補強するための大きな物（3m, 4m, 5mの高さ）を考えている。よっていわゆる空調ではない。今回は空調でない。冬は温水パネルとなり、夏は冷水が通る。冷気と自然風で気持ちよく行くかなあと思う。あんまり言い過ぎてここだけ覚えられると困る。体育館と同じです。今日も来ている空調のプロにも検証してもらっているので大丈夫だと思っていますが。人がいない所にまで暖めるのはやめて、暖かい所に暖気を取りに行く、とう考え方です。

利用者さんにあり難いお言葉を頂いたのですが。それに甘えて金使ってCO2削減に協力しないじゃなくて、地球規模で環境問題を考える中からでてきた。昔は大きな建物はそこへ行けば涼しかったが、今はそのような建物が少ない。よくいう打ち水の効果が期待できる。そういう構成を今考えている。江の島だからできることで、都会の中のアスファルトの中では出来ないことなので。そこをご理解いただきたい。

【県】

難しい問題でいろいろ苦勞しているところです。当然空調があれば助かる。2階もそうです。その中で新しい管理事務所をどう考えたらよいかテーマです。利用者意見がいろいろ出ましたので、ここでまとめます。当然空調があれば助かる。これは1階も2階も同じです。1階は、ちゃんとした空調が入ってくる。今のところ基本的に2階は自然通風採光で温度管理を考えています。そこにはメンテナンス、コストの問題があります。空調はどうやるのかというと局所的な冷暖のものとなる。メンテナンスも含めて、暖かい物を置けば人が集まる。さきほど利用者さんから有効な意見がいただけたのですが、環境共生的な物として考えていきたい。

天井が高いので屋根裏をどう通すのか、それによって温度がだいぶ変わると意見をいただきました。利用者意見がほしい。エコ共生ということで、もう一回委託している設計者と議論していかないといけない。利用者意見としていきたいが、いかがですか？よいですか。ここで決定するわけでもないのもう一度営繕の上の方へ報告していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

【司会】

活発な意見ありがとうございました。長い間ありがとうございました。これで閉めさせていただきます。

以上